



## 写真館

### 親子でさわやか ランニング(9/8)



秋晴れの空の下、豊平川河川敷で「第19回中央区ファミリーランニング大会」が開かれました。約350人の親子が、2\*と5\*のコースを走り抜け、さわやかな汗を流しました。

### 邦楽の音を堪能(9/15)



札幌コンサートホール Kitara で「中央区邦楽コンサート」が開かれ、訪れた約350人が、琴や尺八などの音色に聞き入りました。

### 災害が 起きた時 に備えて (8/30)



9月1日の防災の日を前に、大通公園6丁目広場で防災訓練が行われました。今回は300人以上が参加し、倒壊した建物からの負傷者の救出・応急救置方法や、消火器の使い方などを学びました。

## 中央区 歴史の散歩道 第85回

財閥の栄華を示すシンボルだった

### 北海道知事公館

三井財閥の迎賓館であった知事公館を紹介します。

た人たちのための特別な施設だったのです。

実際に利用されるのは、年に数回だけ。しかし、そのために管理人や料理人など十人前後が勤務していました。まさに、限られ

知事公館が立つ一帯は、かつて一面に桑畑が広がっていました。そこが明治二十五年に分譲され、開拓使の吏員として札幌農学校の校長などを務めた森源三が、現在の知事公館の敷地部分を購入し、私邸を建設しました。その後、森が亡くなると、大正四年になって、三井合名会社が買い取りました。

当時の三井財閥は、各地に集会所を所有しており、迎賓館としても使っていました。森の屋敷も補修・改築した上で、そんな集会所の一つに加えられ、「三井クラブ」や「三井別邸」と呼ばれるようになりました。さらに昭和十一年には新館が建設され、この建物が後の知事公館となります。

三井クラブは、関連企業の重役や、皇族など賓客の宿泊所として使われていましたが、



北海道知事公館(北1西16)  
開館時間 午前9時~午後5時  
休館日 土・日曜、祝日、年末年始  
※敷地は4月29日~11月30日の午前8時45分~午後5時30分に開放

ところが、その華麗な歴史は、戦争の終結とともに終わりを告げます。米軍に接収され、その幹部の宿舎となりました。昭和二十七年に接収が解除されると、札幌市が三井から譲り受け、その後、市と北海道との土地交換で道の所有となりました。以後、知事公館として、再び賓客の接待や会議などに使われていきます。そして、かつてのような容易に立ち入れない特別な場所ではなく、一部は市民が自由に訪れ、憩える場所に生まれ変わったのです。